第 21 期第 44 回神奈川県内水面漁場管理委員会議事録

日 時 令和 6 年 10 月 15 日 (火) 午後 1 時 40 分から午後 3 時 20 分

場 所 神奈川県水産技術センター内水面試験場 「1 階会議室」

議 題

1 報告事項

(1) 全国内水面漁場管理委員会連合会 令和 7 年度中央省庁提案項目案等の提出について (資料 1)

(2) 令和 6 年度全国内水面漁場管理委員会連合会研修会の結果について (資料 2)

2 その他

(1) 神奈川県漁業調整規則の一部改正について (資料 3)

(2) その他

出席者

- ・ 委 員 漁業者委員 篠本 幸彦、萩原 季、平田 英二、細川 孝、本多 菊男
遊漁者委員 長塚 徳男、東 知憲
学識経験委員 安藤 隆、井貫 晴介、津谷 信一郎
- ・ 事務局 荒井事務局長代理、竹村主事、河野主事
- ・ 県水産課 原担当課長、照井 GL、相澤副技幹、中川技師

議 事

事) 荒井代理

それではこれより委員会を開催いたします。

委員の皆様の出席状況について御報告いたします。本日は10名中10名の委員の御出席をいただいております。漁業法第145条第1項の規定を満たしておりますので、委員会が成立することを御報告申し上げます。

それでは議長よろしくお願いたします。

議 長
(井貫会長)

それではただいまから第44回の委員会を開会いたします。

本日の議題ですが、報告事項が2件とその他となっております。

それでは、議事に入る前に本日の議事録署名人を、指名させていただきます。本多委員、安藤委員、よろしくお願いたします。

両委員

(了 承)

議 長

それでは議事に入ります。まず報告事項(1)の「全国内水面漁場管理委員会連合会 令和7年度中央省庁提案項目案等の提出について」を議題としますので、事務局から説明をお願いします。

事) 荒井代理

【資料1に基づき説明】

議 長

はい。事務局から説明がございましたが何か御質問、御意見等ありますでしょうか。

ないようでしたら、報告事項ということで、了承ということでよろしゅうございますか。

委員一同

(了 承)

議 長

ではそのように処理させていただきます。

続きまして報告事項(2)の、「令和6年度全国内水面漁場管理委員会連合会研修会の結果について」を議題としますので、事務局から説明をお願いします。

事) 荒井代理

【資料2に基づき説明】

議 長

事務局から報告がありましたが、何か御質問等ありましたらお願いたします。よろしいですか。

では報告を了承ということにしたいと思います。

続きましてその他(1)の「神奈川県漁業調整規則の一部改正について」を議題としますので、水産課から説明をお願いします。

水) 相澤副技幹

【資料3に基づき説明】

議 長

水産課から調整規則の改正について説明がありましたが、何か御質問がありましたらお願いたします。

安藤委員

3ページの59条は、整理の仕方として(1)、(2)、(3)を「と

き」に改正するというのは分かるのですが、60条に関しては、改正することでもっとも言い方が回りくどくなってしまい、旧の方の60条のままの方がすっきりと読むことができると思うのですが、そうはいかないのでしょうか。

水) 相澤副技幹
安藤委員

御指摘のとおり分かりづらいですよ。

旧の60条の方がすんなり読めそうなのです。59条の改正は分かりませんが。

水) 相澤副技幹

私も非常に難解だと思ったのですけれども、飲み込むために私なりに整理いたしましたので、その内容を御説明させていただきます。お手元の資料の漁業調整規則の部分の22ページを御覧いただきたいと思います。

59条、60条、61条というのがございまして、今回の改正は両罰規定ということを確認するためということございまして、要するに、両罰規定ですから、行為をした者とその行為をした者の所属する会社なども処罰されるというのが第61条でございます。

御覧いただいているのは改正前の法律で、第59条第1項の各号に「者」と書いてあったものを「とき」に改めるということですが、この書き方ですと法人に対しての処罰がされないというように読めないこともないと言いますか、読みづらいといった理由で、表現を適正化したと理解しております。繰り返しになりますけれども、ここは197条でも同じような改正をしております。

一方で、規則の第61条を見ると、「法人の代表者又は法人」と書いてございまして、ここで両罰規定のところ担保されているのですけれども、さらに明確化するための改正と理解しているところでございます。

安藤委員

これは、政策法務課とのやり取りは済んでいるのですか。

水) 相澤副技幹

はい。こちらは改正例が国の方から示されていて、そのままです。

安藤委員

相談されてこうなっているのですね。そうであれば、素人が口を出すところではありませんね。

議 長

私からよろしいでしょうか。文言の適正化についての説明で、漁業法の両罰規定について自然人を対象とすることを明確化するものとありますが、法人はしっかり書いてあるからということですか。

水) 相澤副技幹

そうですね。自然人ですから、行為をした個人も処罰して、業務等の中でその行為を行った個人の所属する法人に対しても処罰するということでございます。

議 長

他に何か御質問ございますか。ないようでしたら、説明を了承したという

ことにしたいと思えます。

委員の皆様方から何か御発言があればお願いいたします。よろしいですか。水産課、事務局の方で何かございますか。ないようでしたら、本日の委員会はこれで閉会といたします。

次回の委員会は11月15日金曜日、16時から委員会を開催し、その後に解散会の予定となっております。どうも御苦勞様でした。